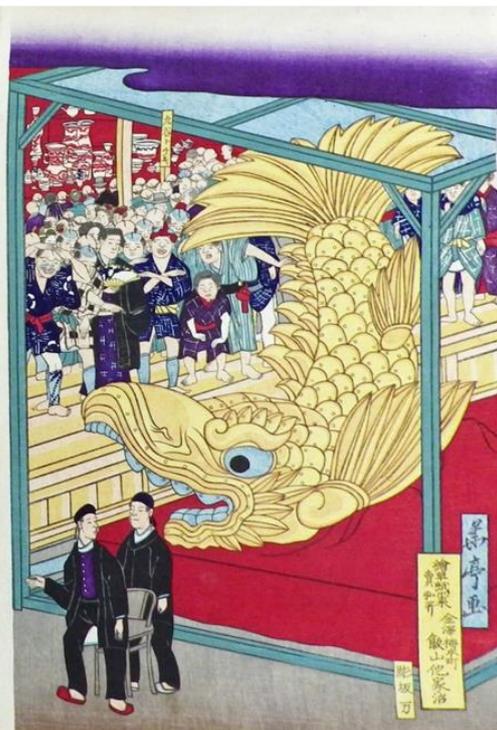
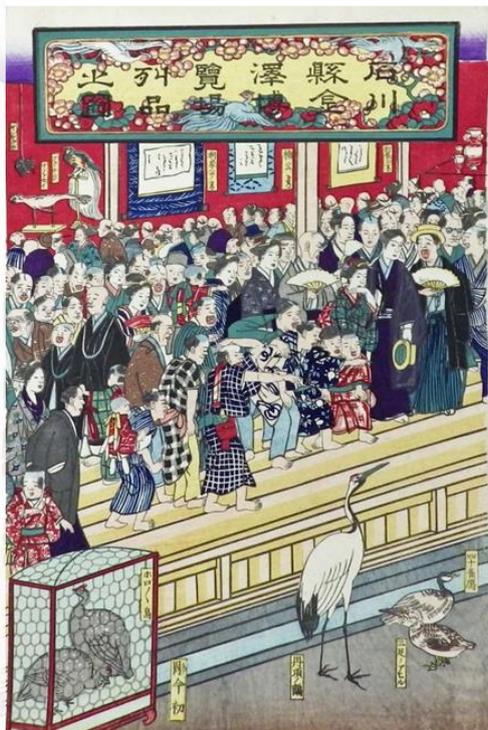
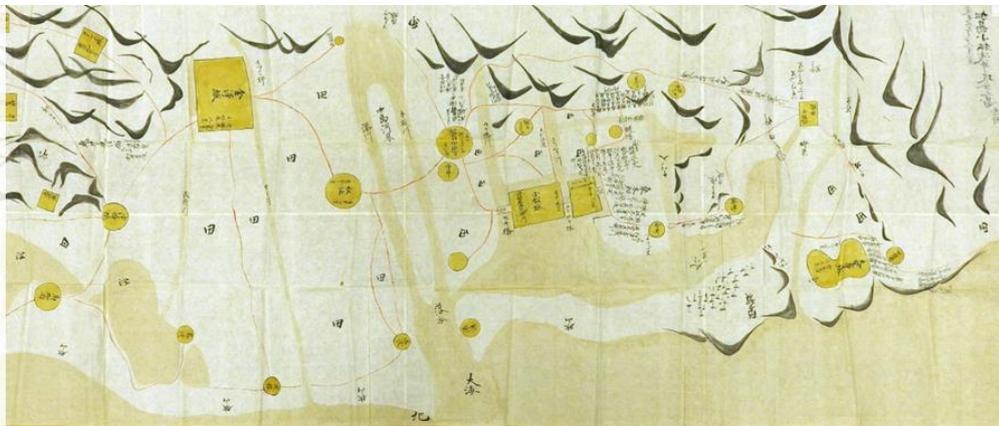


# 新収蔵史料展

令和三年度



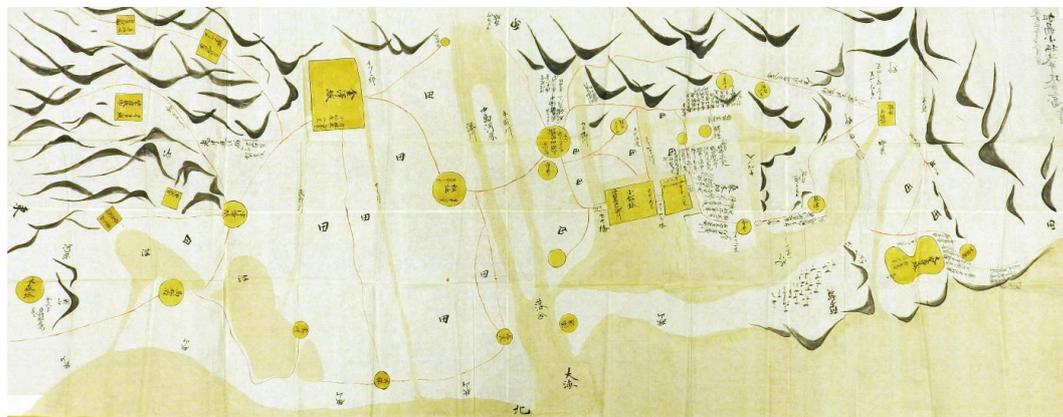
(上) 加州小松浅井攻合之図(090-1657)  
(中) 旧幕府盛之頃国主大名方参勤交代行列図(090-1588)  
(下) 石川県金沢博覧場列品之図(090-1622)

令和3年12月11日(土) ~ 令和4年1月23日(日)

金沢市立玉川図書館 近世史料館

近世史料館は、地域の歴史にかかわる史料の「保存」と「活用」を目的とし、史料の収集と保存、古文書や絵図・地図の修復、史料の整理と目録の編纂、史料の公開と普及という4つの機能を有しています。とくに史料の収集は重要な役割の一つであり、寄贈や購入といった方法によって広く加賀藩政時代の史料を収集し、日頃から保存管理に努めています。

近世史料館で収集した史料は、令和3年3月現在で14万点以上にのぼりますが、本展示では近年あらたに収集した史料の中から、絵図を中心に展示・紹介します。



加州小松浅井攻合之図  
(090-1657)

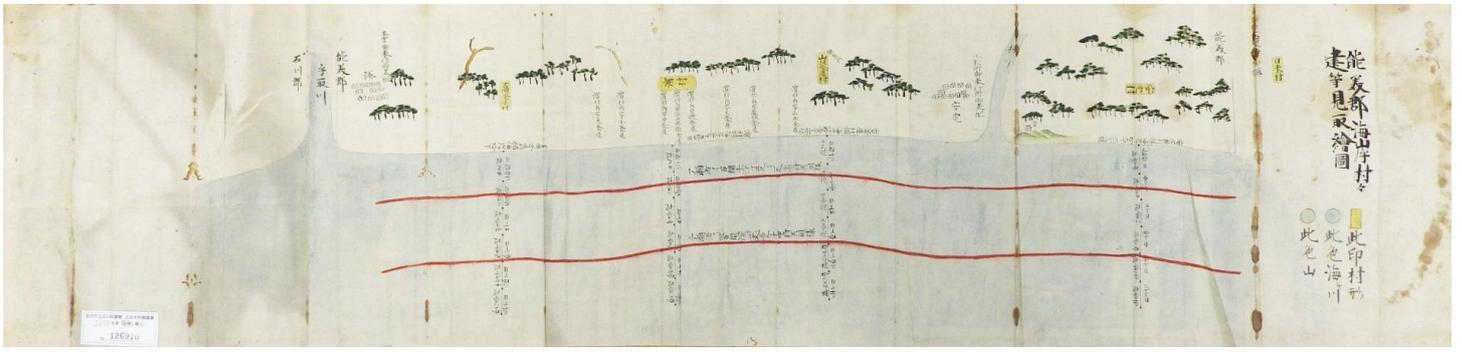
浅井暁の戦いを中心に、北は末森城から南は大聖寺城までの城の位置と城主名が記載されている。慶長5年(1600)の浅井暁における前田勢と丹羽勢の戦いについて、本絵図では武将の配置も描かれており、戦いの様子が具体的にうかがえる。

旧幕府盛之頃国主大名方参勤交代行列図  
(090-1588)



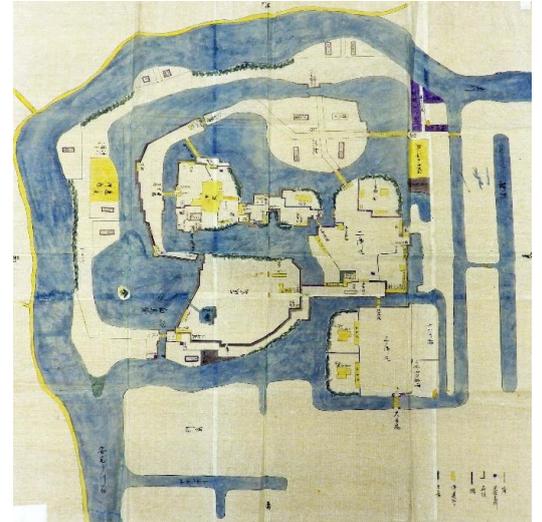
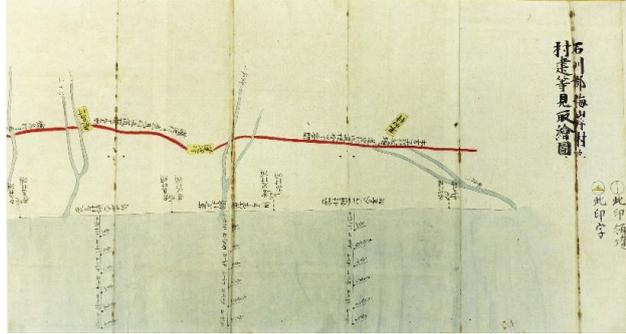
石川県金沢博覧場列品之図  
(090-1622)

明治7年(1874)に兼六園および東本願寺別院を会場として博覧会が開催され、7万人以上の入場者を集めたとされる。名古屋城の金鯱が目玉として展示され、たいへんな盛況ぶりであったという。また、兼六園会場の東館はお雇い外国人の鉦山学教師デッケンのために建築したものであった。

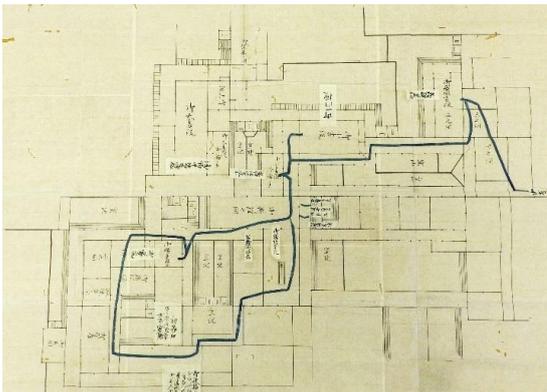


能美郡海岸村々村建等見取絵図 (090-1636-7)

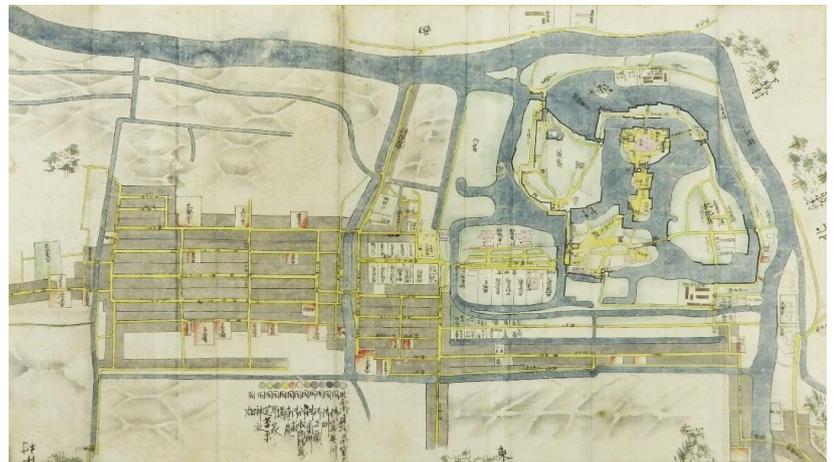
石川郡海岸村々村建等見取絵図 (090-1636-8) 部分



小松城絵図 (090-1637)



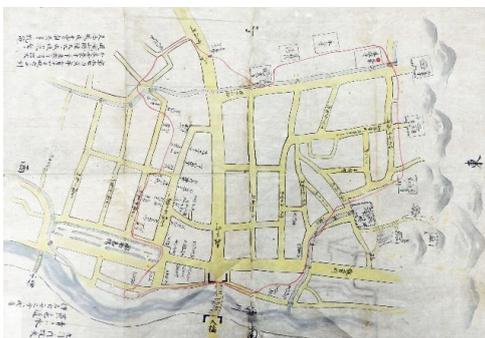
江戸御表御客衆へ御逢之節御道筋附 (090-1659-21)



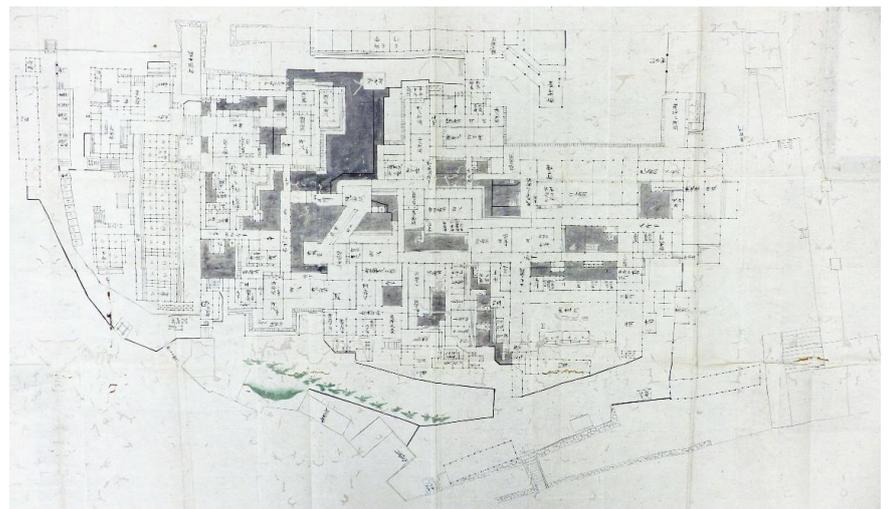
小松城下絵図 (090-1664)



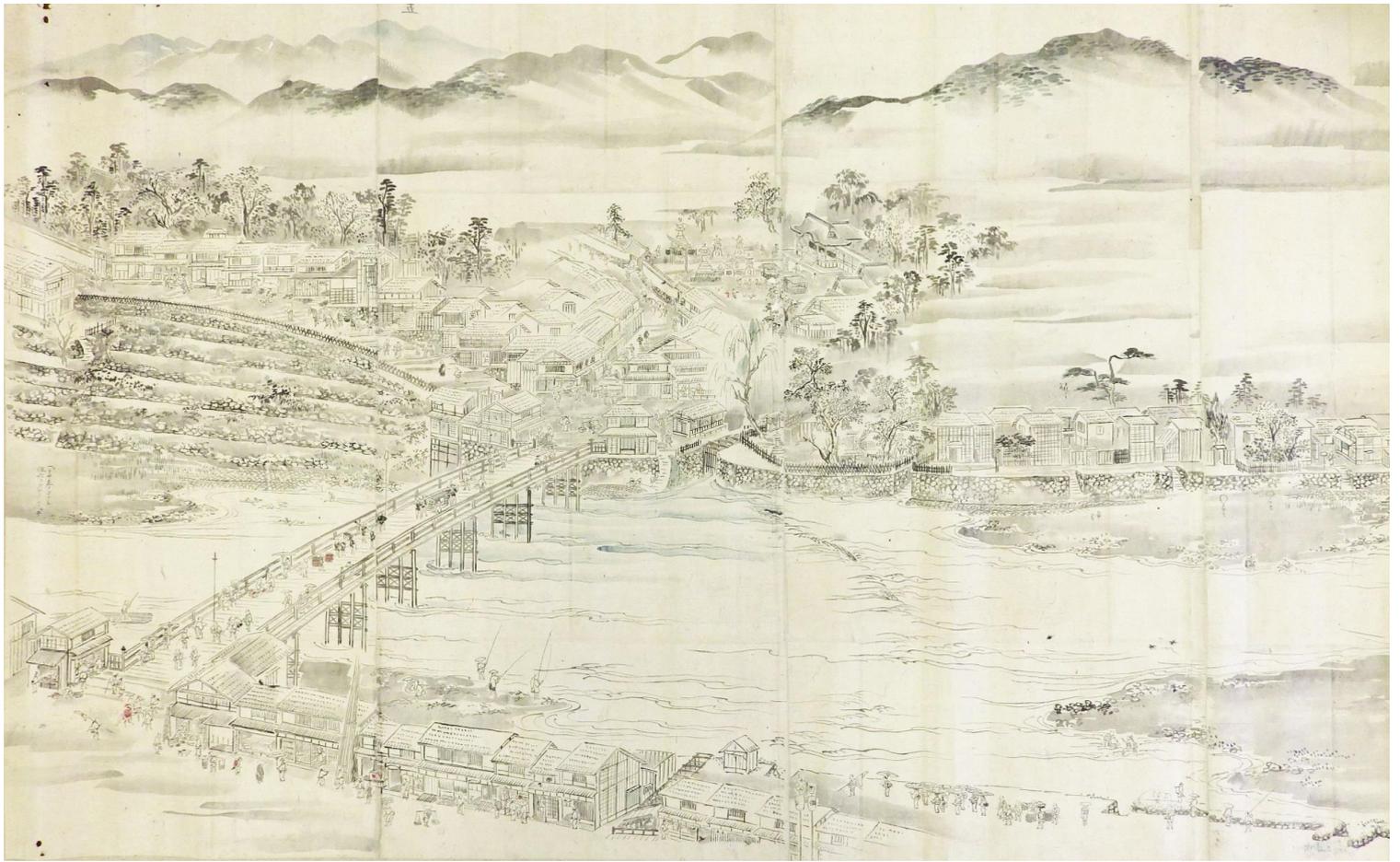
江戸加賀藩上屋敷絵図 (090-1656)



宝永七年金沢城下焼失範囲絵図 (090-1679)



二之丸御殿絵図 (090-1614-1)



犀川大橋付近絵図 (090-1653)

犀川大橋右岸下流伝馬町付近から、犀川大橋を中心に蛤坂や野町神明宮方面までを描いた俯瞰図。町並や建物、町を行き交う武士・商人・町人の様子、さらには犬や猫といった動物に至るまで詳細に金沢の町の様子が描かれている。

### 新収蔵史料展 展示史料一覧

	標題	年月日	形態	点数	史料番号
1	宝永七年金沢城下焼失範圍絵図	宝永7年3月14日	一鋪	1	090-1679
2	江戸加賀藩上屋敷絵図	享保16年正月	一鋪	1	090-1656
3	小松城下絵図	(安政4年～万延元年)	一鋪	1	090-1664
4	江戸御表御客衆へ御逢之節御道筋附	藩政期	一枚	1	090-1659(21)
5	金沢展覧会品目	明治5年9月	袋綴	3	k7-75
6	旧幕府盛之頃国主大名方参勤交代行列図	明治24年12月23日	一鋪	1	090-1588
7	猪山成之 再生日記	明治33・37年	袋綴	4	090-1674
8	石川県金沢博覧場列品之図	(明治期)	一鋪(3枚1組)	1	090-1622
9	犀川大橋付近絵図	年未詳	一鋪	1	090-1653
10	加州小松浅井攻合之図	年未詳	一鋪	1	090-1657
11	小松城絵図	年未詳	一鋪	1	090-1637
12	二之丸御殿絵図	年未詳	畳物	1	090-1614(1)
13	能美郡海岸村々村建等見取絵図	年未詳	折本	1	090-1636(7)
14	石川郡海岸村々村建等見取絵図	年未詳	折本	1	090-1636(8)

展示とパンフレットの史料は若干異なる場合があります。